

長井市第二次男女共同参画基本計画 後期実施計画

令和 5 年度進捗状況調査結果

令和 6 年 1 2 月

長井市

1 長井市の男女共同参画推進について

長井市は、平成18年3月に「長井市男女共同参画基本計画」（計画期間：平成18年度～平成25年度）、平成26年3月に「長井市第二次男女共同参画基本計画」（計画期間：平成26年度～令和5年度）を策定し、男女共同参画社会の実現を目指して取り組んできました。

令和6年3月には、これまでの取り組み状況や課題を踏まえ、「長井市第三次男女共同参画基本計画」（計画期間：令和6年度～令和10年度）を策定しました。成果指標と目標値を設定し、達成度を客観的に評価することで、基本目標「誰もが個性と能力を発揮できるまち」を目指します。

2 進捗状況の評価について

実施計画の進行管理を目的として、年度ごとに成果指標の点検・評価を行っています。成果指標の進捗状況について、以下のとおり進捗率を表しています。実施計画の目標年次である令和5年度までに100%を目指してきました。

$$\text{進捗率（\%）} = \frac{\text{該当年度実績と基準値の差}}{\text{目標値と基準値の差}} \times 100$$

3 各成果指標の進捗状況

成果指標 1-①： 男女共同参画の啓発に関する取り組みの推進

『男女共同参画に係る講座・イベント・パネル展等の実施（広域連携含む）』

担当課：地域づくり推進課

(回)

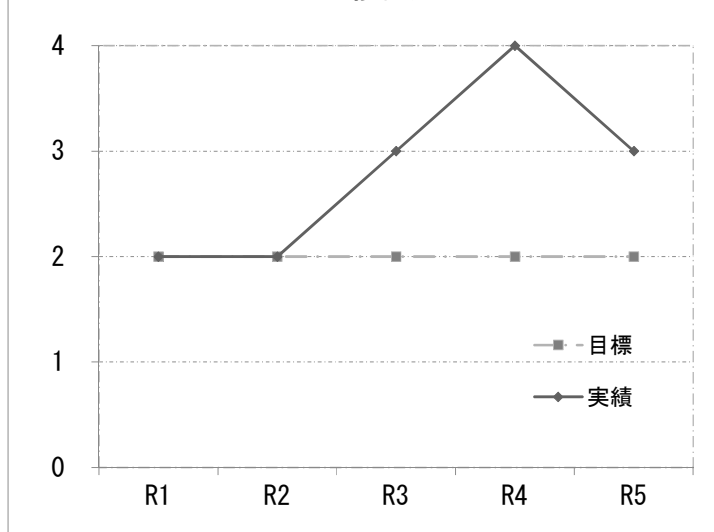
	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						2
実績	2	2	2	3	4	3
進捗率		-	-	-	-	-

■ R5年度の実施状況

①令和5年6月の「男女共同参画週間」期間中に市役所1階市民交流ホールにて、パネル展、啓発DVDの放映、関連図書の紹介、男女共同参画アンケートを実施。
 ②令和5年11月の「女性に対する暴力をなくす週間」期間中には、くるんと内の市立図書館にて啓発物を掲示や関連図書の展示・貸出をおこなった。また、市民課窓口職員がパープルリボンを着用し、意識啓発に取り組んだ。
 ③男女共同参画に関する人権教室を令和5年5月に長井南中学校で、令和6年2月には男女共同参画に関する人権教室を長井北中学校で開催。

(回)

進捗状況



■ 課題

パネル展においては啓発物の展示や配布だけで終わらず、より多くの人に男女共同参画に関する意識高揚や興味関心を持ってもらえるような企画の工夫が必要。

■ R6年度以降の取組み

令和5年度に遊びと学びの交流施設「くるんと」がオープンしたため、図書館と連携した関連図書の紹介、くるんと内の各施設等と連携した企画の実施、幅広い対象者をターゲットとした講座・イベントの企画等、効果的な啓発活動を図りながら取り組んでいく。

成果指標 1-②： 男女共同参画の啓発に関する取り組みの推進

『市報・ホームページ・SNS等による男女共同参画に関する情報発信』

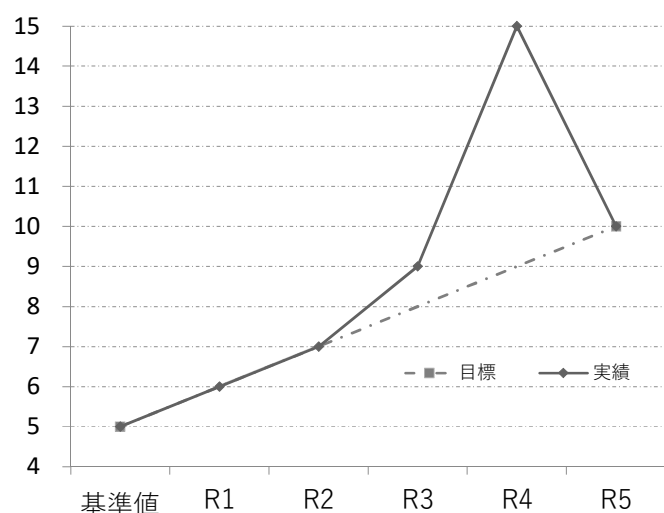
担当課：地域づくり推進課

(回)

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						10
実績	5	6	7	9	15	10
進捗率		20%	40%	80%	200%	100%

(回)

進捗状況



■ R5年度の実施状況

男女共同参画に関して、市報やHPを活用し、わかりやすくタイムリーな情報発信を心掛け実施した。

- ①男女共同参画週間について市報掲載（6月1日号市報）
- ②男女共同参画週間パネル展についてHP掲載
- ③「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集についてHP掲載、2月1日号市報掲載
- ④「R5年度チェリア塾基本コースin置賜」についてHP掲載、市報掲載（6月1日号市報）
- ⑤「女性活躍推進法に基づく取組み」についてHP掲載（総務課）
- ⑥女性向けセミナー（置賜総合支庁子ども課依頼）について市報掲載（9月1日号市報）
- ⑦第二次男女共同参画基本計画 後期実施計画 令和4年度実施状況（HP掲載）
- ⑧「やまがたスマイル企業認定制度」についてHP掲載
- ⑨DV防止講座（チェリア主催）について市報掲載（11月1日号市報掲載）
- ⑩「女性に対する暴力をなくす運動週間」について市報掲載（11月1日号）、HP掲載

■ 課題

イベントの開催周知が多くなる傾向にあるため、女性活躍の事例や企業の先進的な取り組みについて取り上げるなど、一般の方にも興味関心を持ってもらえるような記事の工夫が必要である。

■ R6年度以降の取組み

引き続きタイムリーな情報発信を心掛けるとともに、より男女共同参画に興味を持ってもらえるような内容とすることで市民の意識啓発を図る。

成果指標 2 : 「男女共同参画の推進」を重要な課題と思う人の割合（重要・やや重要）

担当課：地域づくり推進課・総合政策課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						81.3
実績	58.4		61.9		66.4	
進捗率			15%		35%	

■ R5年度の実施状況

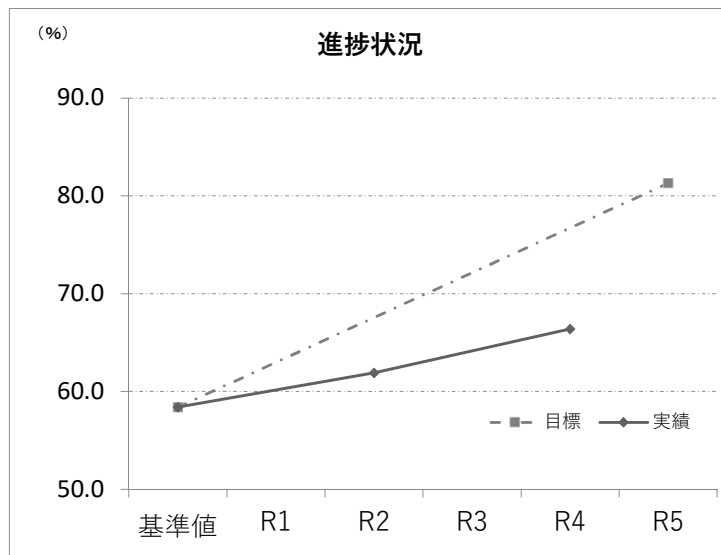
市民アンケートの実施無し。（2年に1回実施。）

■ 課題

男女共同参画の重要性が市民に伝わるような意識啓発が課題である。また、アンケートの結果、これまでの男女共同参画に関する施策が「わからない」という回答が多いことから、具体的な施策をとった意識醸成が必要である。

■ R6年度以降の取組み

令和6年1月より山形県パートナーシップ宣誓制度が開始したことも踏まえ、男女共同参画に関する具体的な施策に関する周知や意識啓発のための広報、情報発信に力を入れていく。また、パネル展は引き続き実施し、独自のアンケート調査をとおして男女共同参画社会実現に向けた地域のニーズや課題を把握する。



成果指標 3 : 審議会等における女性委員の割合

担当課：地域づくり推進課・審議会を持つ全課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						40.0
実績	30.5	31.3	30.6	29.0	29.6	30.6
進捗率		8%	1%	-16%	-9%	1%

■ R5年度の実施状況

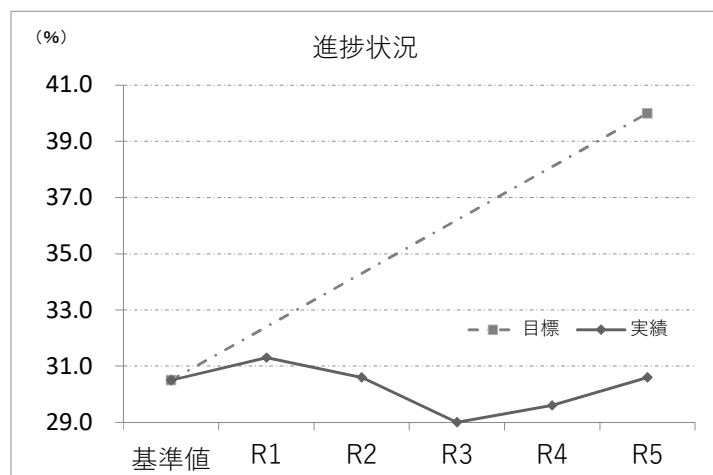
国は目標値を40%以上60%以下、県は目標値30%に設定している。県の目標値30%は達成することができたが、計画最終年度の目標値である40%には満たなかった。令和3年度以降、調査対象としたすべての審議会等において女性委員が選定されている状態は継続しているものの、さらなる選考時の配慮が必要となる。

■ 課題

審議会の委員は個人ではなく関係団体の代表等が就任する場合も多く、組織の代表に女性が少ない現状においては、女性の割合が低い傾向となっている。

■ R6年度以降の取組み

審議会所管課が委員選定の際に男性と女性のバランスについて配慮するよう課長主幹会議等で周知するなど、女性委員の登用を呼び掛けていく。また、単に組織の代表や有識者に就任を依頼するのみではなく、積極的な公募等による登用を呼びかけていく。



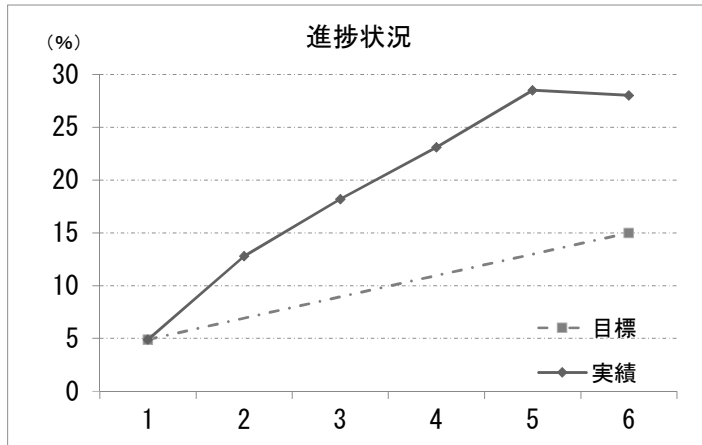
成果指標 4 : 市職員の管理職（主幹以上）に占める女性の割合

担当課：総務課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						15
実績	4.9	12.8	18.2	23.1	28.5	28
進捗率		78%	132%	180%	234%	229%

■ R5年度の実施状況

令和5年度における女性管理職の割合は、32名中9名で、前年度に対しほぼ横ばいではあるものの、目標の15%を上回る数値となっている。



■ 課題

女性職員が働きやすい職場環境を整えることで、管理職としての責務とモチベーションの向上に繋げるため、女性職員が働きやすい職場環境を整備する必要がある。

■ R6年度以降の取組み

能力による管理職登用に向け、人材育成を目的とした研修の充実を図り、意欲向上に繋げる。また、超過勤務の減や休暇の取得率向上に取り組み、健やかで働きやすい職場環境を整える。

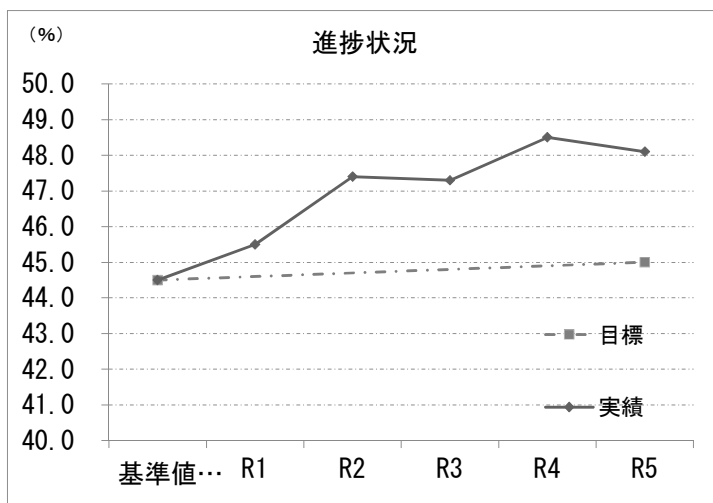
成果指標 5 : パパママ教室に夫婦で参加した割合

担当課：健康スポーツ課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						45
実績	44.5	45.5	47.4	47.3	48.5	48.1
進捗率		200%	580%	560%	800%	720%

■ R5年度の実施状況

感染症対策と対象者の体調面を考慮し、午後半日2回1コースにて実施。参加率向上のため、母子健康手帳交付時に具体的に説明し、参加勧奨をするとともに、ホームページやすくすく子育て応援アプリでの周知を行った。



■ 課題

令和2年度より、感染症対策に留意したカリキュラムに見直した。Covid19が5類になったことを踏まえ、対象者のニーズに合わせたカリキュラムや内容の見直しが必要である。

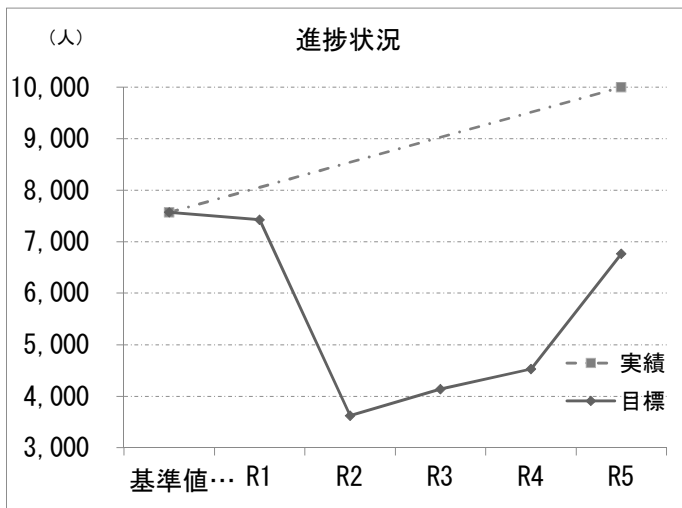
■ R6年度以降の取組み

ニーズに合わせたカリキュラムの見直しを行い、母子健康手帳交付時のチラシ配布、HP、すくすく子育て応援アプリ等を活用して参加を勧奨していく。申し込み方法については電話の他、すくすく子育て応援アプリでのオンライン予約を開始予定である。

成果指標 6 : 子育て支援センター年間利用者数

担当課：子育て推進課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						10,000
実績	7,571	7,428	3,624	4,141	4,528	6,766
進捗率		0	-162%	-141%	-125%	-33%



■ R5年度の実施状況

遊びと学びの交流施設くるんが新たに開設されたことから、従来の「まざ〜れ」「いろは」「にじいろ」の3か所の支援センターを「くるんと子育て支援センター」「いろは」の2か所に統合し、親子の遊び場と交流の場を提供するとともに、子育て家庭の育児相談等の支援を実施した。

■ 課題

子育て支援センターを利用するメインターゲットの0~2歳児の保育所等利用割合が増えてきていることから、利用者数が減少している。
また、未だに新型コロナウイルス感染症の影響が残っており、利用者数の少ない状態が続いている。

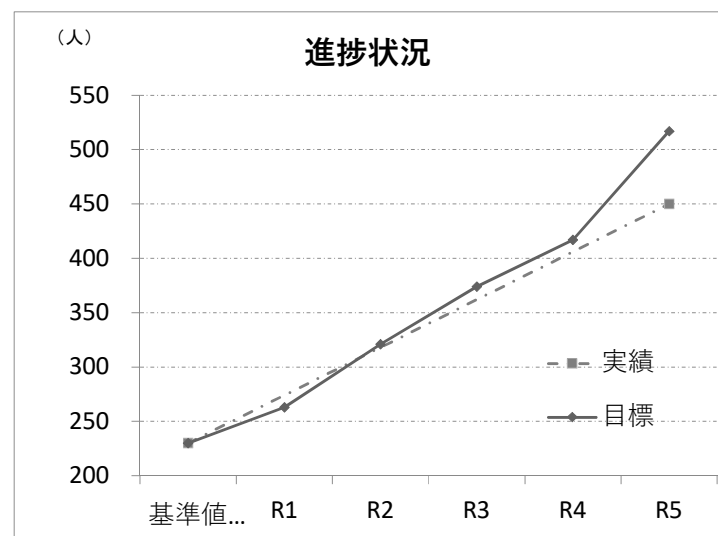
■ R6年度以降の取組み

くるんとの図書館やあそびばを利用する子育て世帯に対するアウトリーチにより「くるんと子育て支援センター」の利用者を確保するとともに、既存の施設である「いろは」と併せ、利用者のニーズに沿った、より魅力的な施設として、更なる利用者の獲得を図る。

成果指標 7 : 子育てアプリ登録者数

担当課：子育て推進課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						450
実績	230	263	321	374	417	517
進捗率		15%	41%	65%	85%	130%



■ R5年度の実施状況

従来の情報に加え、新型コロナウイルス感染症に関する情報など、きめ細やか、かつ、保護者の不安感を取り除くことができるよう各種情報発信を行った。また、R5年度は、予約オプションを追加し、各種教室や相談の予約をとることができるなど、利用者の利便性の向上を図った。

■ 課題

さらなる登録者数増加のために、アプリの認知度を高めることと、こまめな情報配信を継続的に行う必要がある。

■ R6年度以降の取組み

子育てに関する定期的な情報配信を行うとともに、コロナ後の各種情報提供など、より魅力的な情報発信を心がけ、健診等でのPRにさらに力を入れる。

成果指標 8 : 特定健康診査の受診率（国民健康保険）

担当課：健康スポーツ課・市民課

(%)

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						63
実績	45.3	47	49.5	54.6	52.4	54.5
進捗率		10%	24%	53%	40%	52%

■ R5年度の実施状況

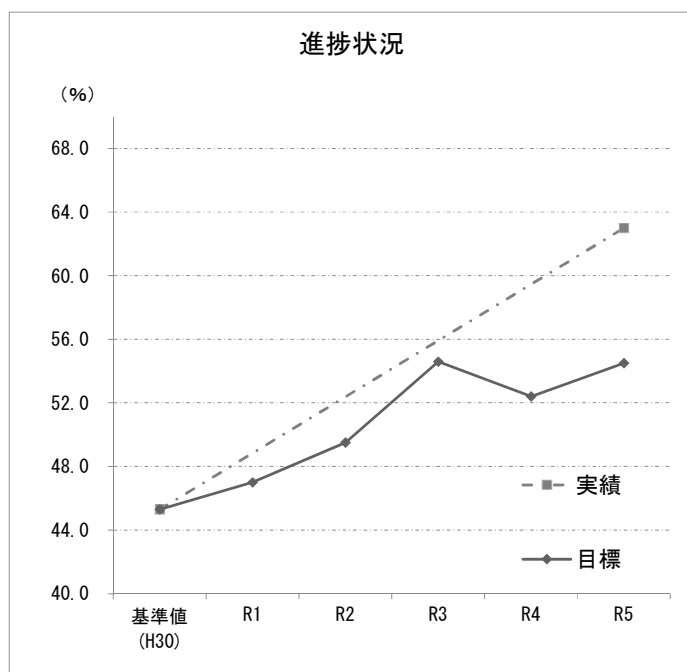
令和5年度については、ほぼ例年通りの時期に開始し、受診勧奨についても健診開始からあまり間を置かず初回の勧奨を行った。
冬期間になるため、終了時期を12月に設定し、健診回数も前年度比3回減で行ったが、受診者数については例年通りの人数であった。

■ 課題

70代以上の受診者数は全体の39.8%を占めており、この世代が後期高齢者医療保険へ移行していくことで受診率に与える影響は大きい。今後団塊世代が後期高齢者医療保険に移行していくため、受診率が低下していくことが考えられる。
健診未受診者のうち医療機関を受診している者の数は年代が上がるごとに増加しており、医療機関を受診していても健診を受診することの重要性をさらに周知していく必要がある。

■ R6年度以降の取組み

今後も健診実施状況に合わせ勧奨対象や時期を柔軟に変更しながら、対象者の特性に応じた勧奨内容の変更やコール・リコールを軸とした受診勧奨を継続していく。
令和6年度から意向調査をすべて個別申し込みに移行した。意向調査方法の変更により申込忘れ等の方が一定数出てくることが考えられるため、より個々に沿った対応を行っていく。



成果指標 9： 小中学校に向けた男女共同参画に関する啓発活動の実施回数

担当課：地域づくり推進課、学校教育課

(回)

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						2
実績	1	1	0	1	1	2
進捗率		0%	-100%	0%	0%	100%

■ R5年度の実施状況

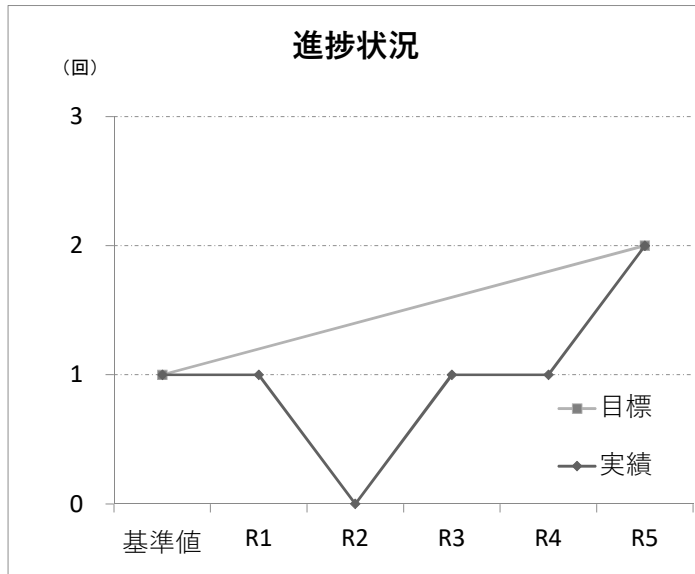
人権教室の一環として、長井南中学校、長井北中学校の2校において“自立と共生に関する指導”としてLGBTQ等多様性に関する講話を行った。また、他教科（保健体育・社会・家庭・道徳）とも関連させ、ジェンダーや多様性も包含しつつ、男女共同参画社会や家庭の役割の見直し等を学習した。

■ 課題

人権教室自体は小・中学校学校で実施しているものの、男女共同参画に関するテーマは中学校のみであるため、小学校においてどのように扱うかが課題。また、学校をとおして保護者の意識の醸成も課題。なお、小中学校を啓発対象とすることは良いが、その取組をどのように進めていくかの視点で活動の見直しが必要。

■ R6年度以降の取組み

令和6年度から中学校における制服の選択制導入が開始されたことも踏まえ、引き続き人権教室や講話を実施し、多様性の理解につながる学習機会を充実させていく。また小中学校向けの啓発活動として出来ることが無いのか検討し、チラシ等の啓発により、子どもを通じて、保護者にも啓発が届くことを目指す。



成果指標 10： やまがたイクボス同盟加盟数

担当課：地域づくり推進課・商工振興課

(社)

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						15
実績	4	4	10	10	9	9
進捗率		0%	55%	55%	45%	45%

■ R5年度の実施状況

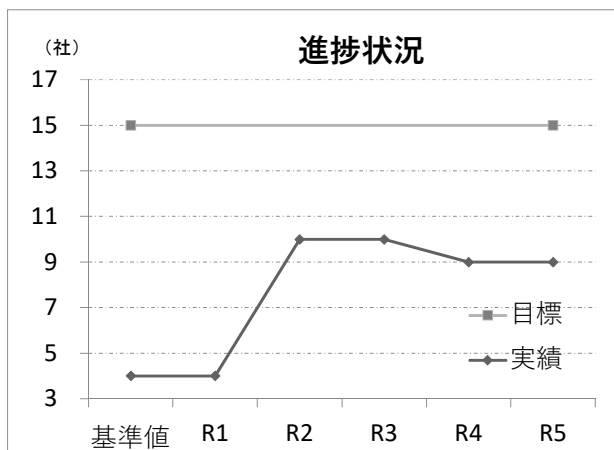
R2. 2月に民間企業とともに「長井市イクボス共同宣言」を実施したことをきっかけに、長井市としても同盟に加盟。その後、市報・HPでの広報やチラシの配付等を通じて制度の周知と募集を図ったが、新規団体の加盟には繋がっていない。

■ 課題

令和2年度中は一時的に加盟数の増加は見られたものの、令和3年度以降は新たな加盟企業はない。引き続き、制度の周知を行いつつ、今後は県の新制度である「やまがたスマイル企業認定制度」の認知度向上のための方策を検討していく。

■ R6年度以降の取組み

第三次基本計画ではR5. 10月に県が新設した制度「やまがたスマイル企業認定制度」にて認定を受けた企業数を成果指標とする。制度の周知と認定の促進に取り組むほか、地域企業・団体と連携し、情報発信や男女がともに働きやすい職場環境を整備するための取組を推進していく。



成果指標 11 : 市の男性職員の配偶者出産休暇（2日）、育児参加のための休暇（5日）の合計平均取得日数及び取得率（配偶者出産休暇又は育児参加のための休暇の取得人数/取得対象人数）

担当課：総務課

取得日数

(日)

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						5
実績	2.7	2.7	3.8	2.9	3.8	5.3
進捗率		0%	48%	9%	48%	113%

■ R5年度の実施状況

所属長を通じた職員への制度周知を行ったが、出産後すぐに育児休業を取得した職員もいたことから、取得率が減となった。しかしながら、育児休業を含めた全体的な休暇の取得状況としては向上している。

取得率

(%)

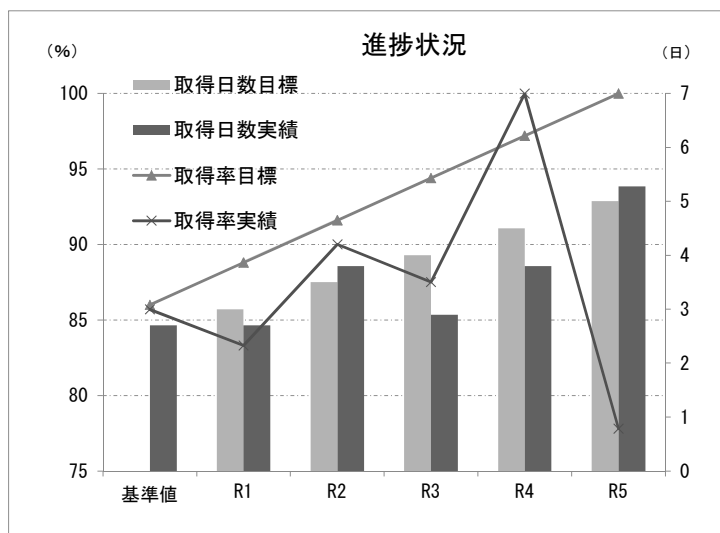
	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						100
実績	85.7	83.3	90.0	87.5	100.0	77.8
取得人数	6	10	9	7	4	7
取得対象人数	7	12	10	8	4	9
進捗率		-17%	30%	13%	100%	-55%

■課題

職員が各休暇制度の理解度を深められるよう、周知方法について再度検討するとともに、それぞれの休暇を有効活用できるよう、所属課において取得しやすい雰囲気づくりが必要。

■ R6年度以降の取組み

各休暇制度について、個人ごとに丁寧に説明するとともに、職員全体に対しても改めて周知していく。また、取得しやすい職場環境づくりについて、管理職を中心とした協力体制を構築する。



成果指標 12 : 病児保育利用者数

担当課：子育て推進課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						300
実績	271	253	114	237	202	230
進捗率		-62%	-541%	-117%	-238%	-141%

■ R5年度の実施状況

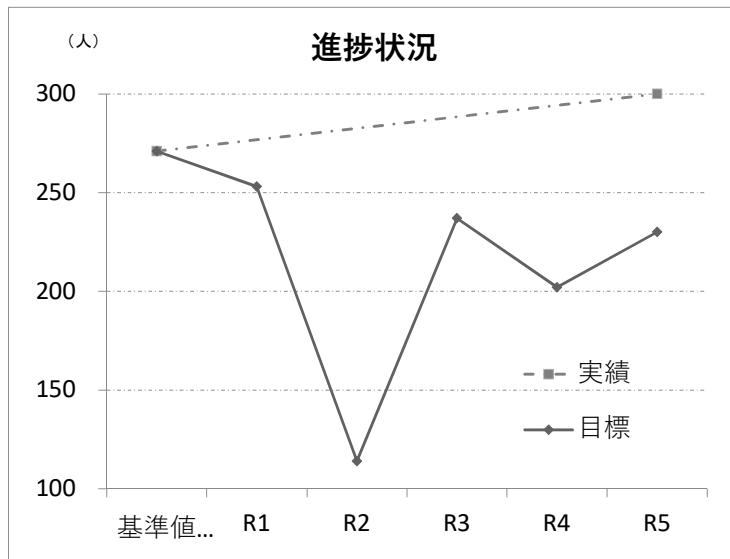
各種検診や子育て関連施設でのPR、ホームページを活用した周知広報に合わせ、各施設訪問を実施し、情報提供を行い、一定の利用者を確保した。

■ 課題

少子化により児童数自体が減少しており、また、新型コロナウイルス感染症の予防のために行われた各種対策により、その他一般的な感染症や疾病の発生も抑制されており、利用者の少ない状況が続いている。

■ R6年度以降の取組み

病児が減少していること自体は好ましい状況ではあるが、今後、その保育が必要となった場合に、速やかな対応ができるよう、なお一層の周知広報を行い、更なる認知度を高めるとともに、一人でも多くの登録を募る。



成果指標 13 : ミニデイサービス利用者数

担当課：健康スポーツ課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						46,000
実績	45,766	39,624	24,837	26,385	23,306	26,984
進捗率		-2625%	-8944%	-8282%	-9598%	-8026%

■ R5年度の実施状況

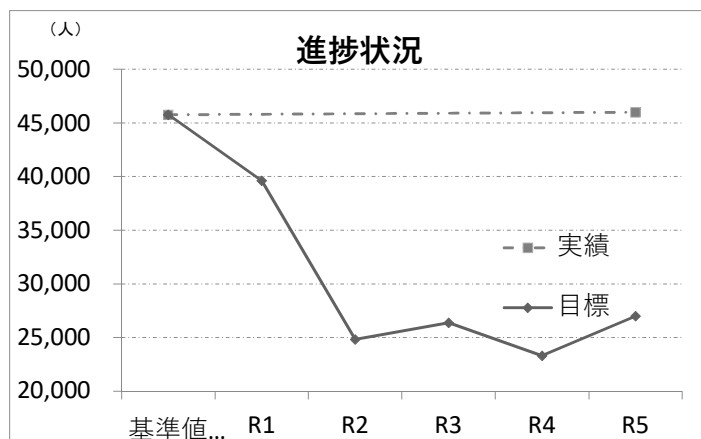
新型コロナ感染症の影響もあり、半日で開催しているミニデイサービスが多い状況である。新型コロナ5類移行後も状況は大きく変わっていない。参加者の高齢化が進んでおり、休止をするミニデイサービスが出てきている。

■ 課題

会員の高齢化による参加困難や会員数減少、定年延長や再雇用によりミニデイサービスの運営を担う協力員のなり手不足が問題となってきている。

■ R6年度以降の取組み

市報やホームページを活用しミニデイの活動について市民に継続して周知を行っていく。また、ミニデイ同士の意見交換を図るなど活動の活性化を図るための支援を行っていく。



成果指標14： 女性消防団員の所属人数

担当課：総務課

	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
目標						20
実績	14	14	15	15	16	16
進捗率		0%	17%	17%	33%	33%

■ R5年度の実施状況

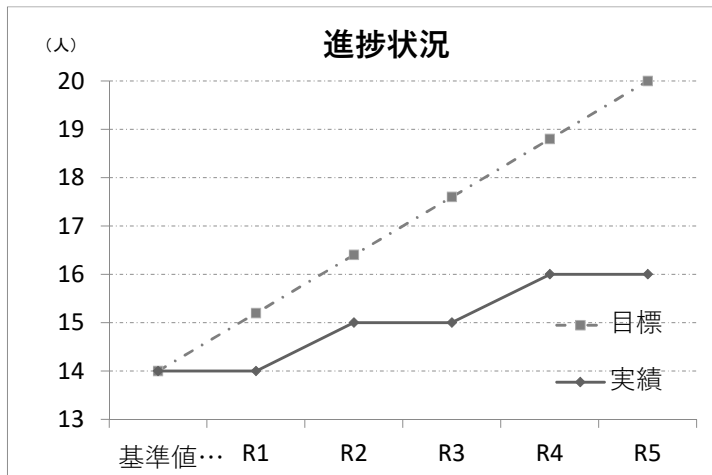
長井市消防演習、長井市消防出初式等の消防団行事への参加、長井市総合防災訓練時の啓蒙活動（防火紙芝居、防災クイズ等）の実施。

■ 課題

女性消防団員のみならず、消防団員自体の人員が減少傾向にあるため、入団促進のPR活動を行っていく必要がある。

■ R6年度以降の取組み

長井市消防演習、長井市消防出初式等の消防団行事への参加の促進、各種イベントにおける啓蒙活動（防火紙芝居、防災クイズ等）の実施、住宅用火災警報器設置推進PR活動の実施。



参考指標（現状把握）： 地域活動における女性活躍の推進

※地域での女性活躍を推進するという視点で追加したもの。

市が主導で推進することが難しい分野であるため、目標を設定するものではなく『現状の周知と活躍社会への意識化』という意味で設定し、毎年最新データを公表する。

本指標は地域での意識啓発など全体的な取り組みを通じて、最終的に基準値よりも『女性の割合が増加』するとともに他の数値指標の向上に繋げることを目的とする。

指標名	基準値 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
①各地区のコミュニティセンター運営協議会委員の女性割合	16% (25人/156人)	16% (25人/156人)	18.5% (25人/135人)	17.8% (24人/135人)	17.8% (24人/135人)	19.4% (27人/139人)
②各地区の地区長の女性割合	0% (0人/138人)	0% (0人/138人)	0% (0人/138人)	0% (0人/137人)	0.7% (1人/137人)	0.7% (1人/138人)
③市内小中学校のPTA会長の女性割合	12% (1人/8人)	0% (0人/8人)	0% (0人/8人)	0% (0人/8人)	0% (0人/8人)	0% (0人/8人)

5 総評

令和5年度は第二次基本計画及び後期実施計画の最終年度であり、目標値の達成に向けて施策の推進に取り組んで参りました。令和5年度は14指標のうち目標値を達成できたものは7指標となっており、半数の施策がおおむね着実に計画を実行できたといえます。さらに14指標のうち8指標が令和4年度実績値を上回る結果となっており、徐々にではありますが、男女共同参画に関する意識の醸成が見受けられました。しかし、目標値に達していない項目も多く、引き続き、啓発や市施策を充実させることで男女共同参画に関しての意識の醸成を図っていく必要があります。

「成果指標1：男女共同参画に係る講座・イベント・パネル展の実施（広域連携含む）」について、パネル展を2回実施しました。11月の「女性に対する暴力をなくす運動週間」では、令和5年9月にオープンした子育て施設「遊びと学びの交流施設くるんと」と連携し、施設内の市立図書館にてパネル展を実施しました。子ども向け絵本から大人向けの関連図書までを幅広く展示し、施設を利用する子育て世代を中心としてより多くの市民に向けた意識啓発に努めました。今後も、図書館やコミュニティセンター等、各施設・機関と連携しながら、男女共同参画社会の重要性が市民に伝わるような講座やイベントの企画・開催に取り組んで参ります。

「成果指標3：審議会等における女性委員の割合」については、令和5年度は30.6%となり、昨年度より1.0%増加しました。国の目標値である40%以上60%以下には届きませんでしたが、調査対象としたすべての審議会等において女性委員が選定されている状態は継続しています。引き続き、市の施策等に反映される意見に性別による意見の偏りが出ないように、各審議会所管課で委員選出の際は男女のバランスに配慮するよう呼びかけを実施して参ります。

「成果指標10：やまがたイクボス同盟加盟数」については、令和2年の同盟加入以降、市報・HPでの広報やチラシの配付等を通じて制度の周知と募集を図ってきましたが、新規団体の加盟には繋がっていない状況です。令和5年10月より、「ワーク・ライフ・バランス」や「女性活躍」の推進に取り組んでいる企業等を県が認定する制度「やまがたスマイル企業認定制度」が開始したことを受け、第三次男女共同参画基本計画では「やまがたスマイル企業認定制度」で認定を受けた企業数を成果指標として設定しました。引き続き「やまがたイクボス同盟」の周知を行いつつ、「やまがたスマイル企業認定制度」認知度向上のための方策を検討していきます。

今年度の成果指標の実績結果より、徐々に改善されているものの、男女共同参画社会の理念や重要性の浸透には至っておらず、現状では啓発活動の工夫や実施回数が不十分であることがわかります。今後も各担当課で事業の実施内容や方法の改善を図るとともに、それぞれの事業で男女共同参画の視点を意識して事業を展開していくことで、第三次男女共同参画基本計画の基本目標「誰もが個性と能力を発揮できるまち」の実現を目指していきます。